

議案第47号川西市農業共済条例の制定について、日本共産党議員団を代表し反対討論を行います。

農業災害補償法の一部を改正する法律の制定等に伴い農業共済は、当然加入から任意加入に移行します。保険や共済における逆選択を防ぐための手法で適用されているものが、任意加入制に移行することで逆選択が進むとともに農業共済組合の財務や相互扶助の仕組みに影響を与えかねない危惧します。

また、収量の3割でも補償してきた一筆方式を廃止することで圃場（ほじょう）ごとのきめ細かい被害補償がされなくなります。加えて無事戻しの廃止など共済加入者に不利益をもたらしかねません。

新たに設けられる収入保険は青色申告を前提とし、現状では対象者が限られる上に農業共済、収入減少影響緩和策等の加入者はその制度から離脱しなければ加入できません。また、収入保険の導入に合わせて米の生産調整や直接支払い交付金など岩盤制度の廃止を進め、収入保険のみで稲作の経営安定、所得確保を実現することはできません。

川西市の場合は水稲ですが、日本農業全体を考えれば支える制度になっていないことから反対することを申し上げ討論といたします。

認定第8号 平成29年度川西市病院事業会計決算認定について、日本共産党議員団を代表し反対討論を行います。

平成29年度の川西市病院事業会計予算では、平成28年3月に策定した市立川西病院経営健全化計画の目標達成に向け病院職員一丸となり取り組む姿勢に期待し、賛成の立場をとりました。

29年度の決算では、経常収支比率以外は、目標値に届かないものの救急搬送された患者の積極的な受け入れ、7対1看護の厳格化に伴う重症化患者の割合も30%近いということや認知症ケア加算1及び非尿自立指導料の算定も開始されるなど入院収益向上にも努められ、前年度比較で赤字額を減少できたことは評価に値すると考えます。

しかし、29年度予算審査からわずか2カ月足らずの昨年5月にマスコミ先行で（仮称）市立総合医療センター構想案の内容が明らかになりました。

現川西病院を閉鎖し、公設民営で新たにキセラ川西区域内に新病院を建設する計画は、多くの市民、特に北部地域に住む市民や猪名川、能勢、豊能の3町の町民から不安と驚きの声が挙がりました。公表の仕方に加えその後の進め方についても情報不足の上、説明責任が果たされず参画と協働のまちづくり条例の理念に則り行っているとは思えません。29年度はこうした状況が病院職員や市民にも多大な影響を及ぼしたことを捉え反対すること申し上げ討論と致します。